

旅客船におけるバリアフリー化推進セミナー@福岡

■開催概要

- (1) 日時 令和7年6月5日(木) 15時00分～17時00分
- (2) 場所 JR博多シティ(10階大会議室)

□九州における交通バリアフリー化の実態と当事者参加の現状

15時50分～16時20分

講師 後藤秀和(NPO法人 自立支援センターおおいた)

【内容】

- (1) 自己紹介
- (2) 団体紹介
- (3) 大分県の交通バリアフリー状況
- (4) 改正バリアフリー法
- (5) フェリーさんふらわあターミナル
- (6) 「特別なバリアフリー」から「あたり前のバリアフリー」

(1)自己紹介

【氏名】 後藤秀和

【所属】 NPO法人 自立支援センターおおいた

【年齢】 48歳

【在住】 別府市(宮崎県小林市出身)

【障害名】 頸髄損傷(17歳バイク事故)



NPO法人 自立支援センターおおいた 理事長

後藤 秀和

プロフィール

17歳の時に交通事故で頸髄を損傷し車椅子の生活となる。平成27年、現センターの理事長就任。これまで、IVLP(国務省人物交流プログラム)に参加しアメリカ障害者施策(ADA法、人権、差別等)について学び、大分県では各種人権擁護委員をはじめ、講演及び講師(市町村人権教育推進講座指導者養成指導者)等を努める。本講座内容の慣習等も行なっている。

平成05年07月 受傷
平成12年09月 トールペイントはな工房設立
平成17年02月 NPO法人自立支援センターおおいた入社
平成18年08月 ジェネラルマネージャー就任
平成22年08月 副理事長就任
平成23年03月 NPO法人自立支援センターおおいた退職
平成23年04月 自立生活センターゆびあ設立
平成26年09月 NPO法人ばりあな設立
平成26年09月 NPO法人自立支援センターおおいた入社
平成27年03月 NPO法人自立支援センターおおいた理事長就任

令和01年01月(講演)バリアフリーが集客の鍵 九州ソーシャルビジネスネットワーク
令和01年05月(委員)九州バリアフリー等連絡会議 兼 移動等円滑化評価会議九州分科会委員就任
令和01年07月(委員)大分県居住支援協議会委員
令和02年12月(委員)別府港UDターミナル推進協議会委員
令和02年12月(講演)別府大学
令和03年03月(講演)ユニバーサルツーリズム 体験型 講演会
令和03年05月(委員)大分県障がい者差別解消・権利擁護推進センター 相談事例検討委員会委員
令和03年05月(委員)東京2020オリンピック・パラリンピック応援別府市実行委員会委員
令和03年12月(講演)特別なバリアフリーからあたり前のバリアフリー(別府大学)
令和04年06月(講演)宇佐市隣保館
令和04年11月(講師)令和4年度市町村人権教育推進講座 指導者養成・指導者スキルアップコース
令和04年12月(講演)別府大学
令和05年02月(講演)国東市人権講座(社会教育課人権教育・部落差別解消推進係)
令和05年07月(講演)ユニバーサルデザインと社会づくり(大分大学)
令和05年08月(講演)ユニバーサルデザインと社会づくり(APU)

○フェリーさんふらわあ（大分県別府市）～（大阪）



さんふらわあ（くれない・むらさき）

（バリアフリー情報）

船内は段差は無く車椅子ユーザーも移動がしやすい、スイートバリアフリールームあり。他、シャワー室と兼用で多目的トイレあり。その他、筆談ボード・コミュニケーションボードの設置あり。スロープを通り甲板へ行くことも可能。

<https://parabeppu.com/spot/2205/>

○宇和島運輸フェリー（大分県別府市）～（愛媛県八幡浜） /（大分県臼杵市）～（愛媛県八幡浜）



宇和島運輸フェリー（あかつき丸）

（バリアフリー情報）

車いす専用駐車スペースあり。館内へは緩やかなスロープ。館内および船内にバリアフリー対応トイレあり。乗り場食堂はテーブル席。乗降船時は昇降機利用。

<https://parabeppu.com/spot/2103/>

○国道九四フェリー（大分県佐賀関）～（愛媛県三崎）



※2023年5月現在の情報

<https://barifuri-oita.com/spot/54890/>

○その他 （姫島・無垢島・保戸島・大入島・大島・屋形島・深島）

姫島村営フェリー

<https://barifuri-oita.com/spot/70120/>

保戸島離島フェリー（ニューやま2号）

<https://barifuri-oita.com/spot/67612/>

保戸島フェリー乗り場

<https://barifuri-oita.com/spot/67584/>

姫島港フェリー乗り場

<https://barifuri-oita.com/genre/traffic/page/2/>

竹田津港フェリーターミナル

<https://barifuri-oita.com/spot/62282/>

○空港リムジンバス ○路線バス



大分交通(エアライナー・リフト付き)

■運行路線

大分空港行:Z系統 大分駅前→(高速経由)→大分空港

大分空港発:K系統 大分空港→(別府経由)→大分新川

https://www.youtube.com/watch?v=eizXPZof_bg

○タクシー



別府市福祉タクシー(一覧)

https://parabeppu.com/spot_category/traffic/

○ホーバークラフト



<https://www.youtube.com/watch?v=tCOVUHwLtmY>



○JR



JR別府駅

<https://parabeppu.com/spot/2081/>

(バリアフリー情報)

車いす専用駐車スペース、乗降スペースあり。バリアフリー対応トイレは3箇所。入口は一部自動。ホームまではエレベーターとスロープ。乗降車時は簡易スロープを使用。

JRソニック



(4) 改正バリアフリー法



高齢者障害者等用便房(バリアフリートイレ)

令和2(2020)年度に、国土交通省が策定している「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」が改正されました。

(トイレに関する主な改正内容)

- ・多機能便房(※)の機能分散
- ・車いす使用者用便房の大きさの見直し

これまで「多機能トイレ」「多目的トイレ」と言われていた施設・設備のガイドラインが改めて設けられました。この改正を機に「多機能トイレ」「多目的トイレ」などの呼称も見直され、機能を分散した上で、体の不自由な方や高齢者が利用する各種トイレを「高齢者障害者等用便房(バリアフリートイレ)」と総称することになりました。

(理由)

これまでのバリアフリートイレでは、車いすユーザー対応の設備、オストメイト、おむつ交換台やベビーシートなどの乳幼児連れの方に必要な設備を集約してしまったために利用者が集中し、「本当に必要とする方たち、特に広い空間を必要とする車いすユーザーがなかなか使えない」という事態を招いていました。そこで、これまでのバリアフリートイレに集約していた機能を分散して、よりたくさんの利用者がスムーズに使えるように整備していきましょう、ということになりました。

| | | |
|---------------|---|--|
| 個別機能を備えた便房 | 車椅子使用者用便房 | ・車椅子使用者が円滑に使用できる広さを備えた便房(大型ベッド付きを含む) |
| | オストメイト用設備を有する便房 | ・腰掛便座のある広めの便房に汚物流しなどのオストメイト用洗水器具を設けたもの |
| | 乳幼児用設備を有する便房 | ・ベビーカーとともに入れる広さを備えた便房で、乳幼児椅子、乳幼児用おむつ交換台、着替え台等を備えたもの ・乳幼児連れ利用者に配慮した設備を有する便房を設けない場合、便所内(男子用及び女子用の区別があるときはそれぞれの便所)に乳幼児用おむつ交換台を設ける方法もある |
| 個別機能を組み合わせた便房 | ・利用想定等を十分に考慮し、車椅子使用者用便房(大型ベッド付きを含む)に、オストメイト用設備又は乳幼児用設備を付加した便房 | |

そのトイレしか「使えない人がいる」

こんな困りごとがあります。

バリアフリートイレが本来必要のない人によって使用されると、ここしか使えない車椅子使用者などが困ってしまいます。

- 男女共用のバリアフリートイレしか使えない人もいます。
- トイレ内の消火ボタンを押して外に出ると、施錠されて外から開けられなくなってしまうことがあります。
- 大型ベッドやおむつ交換台がたまたま埋まっていると、車椅子使用者などが入りできないことがあります。



機能分散が進められています。

●車椅子使用者用トイレへの利用集中を避けるため、オストメイト対応設備が必要な方や乳幼児連れの方のための設備を一般トイレ内へ分散させる取組が徐々に進んでいます。

（トイレの機能分散化の整備事例）

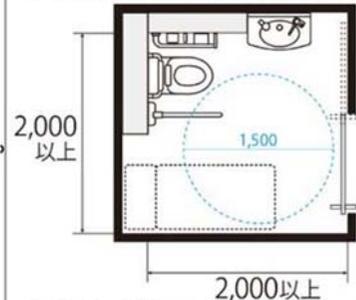


図例：東京駅

図例：大宮駅東口乗降場（旧）

発行：国土交通省総合政策局バリアフリー政策課 〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 電話 03-5253-8111

ライニング（設備配管）ありの場合



※最低限の車椅子回転径（150φ）は確保するものとし、大規模な施設等では電動車椅子での利用も考慮した回転径（180φ）を確保するよう努める。

【令和3年4月15日】

赤羽大臣が6席分の車椅子用フリースペースを整備したN700Sに試乗
国土交通省

車両における取組みとして、東海道新幹線については、車いすスペースを6席設置した新型車両N700Sを追加投入するとともに、「EXサービス」でWEB予約可能な車椅子対応座席を拡大しています。在来線については、車いすスペースを拡充した新形式の通勤型電車315系及び新型特急車両HC85系の投入により、バリアフリー設備の整備を進めています。



DPI日本会議

<https://www.dpi-japan.org/blog/workinggroup/traffic/n700s-report/>

車椅子使用者への配慮・サイトラインの確保

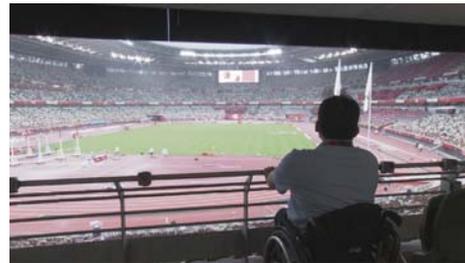
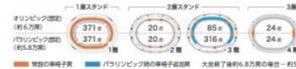
全てのエリアで車椅子使用者が観覧できるスタジアム

- スタジアムの全席・全階に車椅子を分散させている。特に利用頻度の高い1階スタンドに、外壁から段差なくアクセスできる車椅子席を多く配置し、客席からの高さや快適性を確保した。感動を分かち合える観戦環境を整備している。
- 車椅子席は約500席で同伴者の設定席が車椅子席の合間に備え付けられている。



3階スタンド車椅子席 1階スタンド車椅子席

全ての階にバランスよく車椅子席を配置（階間がワイドなバックシフト席を除く）確保は観戦席にも配慮する。



● サイトラインの確保

- 車いす使用者用客席・観覧席は、前後の客席の位置、高低差を考慮し、舞台やスクリーン、競技スペース等へのサイトラインを確保する。
- サイトラインは、舞台やスクリーン、競技スペースの形状や位置により異なるので十分に配慮する。
- 車いす使用者用客席の前面に設ける手すりの高さは、サイトラインに十分配慮する。
- 建築物の構造等により、車いす使用者用客席からサイトラインが確保しにくい場合には、車いす使用者用客席と前席との位置をずらし、前席の人の肩越しにサイトラインを確保できるよう配慮する。



（出典：高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準（劇場、競技場等の客席・観覧席を有する施設に関する追加版）、2015）

| | | |
|----------|-------------------------------|---|
| バリアフリー新法 | 2006年施行 ※令和2年改正「改正バリアフリー法」 | ハートビル法＝建物、施設等のバリアフリー 交通バリアフリー法＝道路、公共交通機関等のバリアフリー |
|----------|-------------------------------|---|

バリアフリー法は、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の通称で、高齢者や障がい者が肉体的・精神的に負担なく移動できるように、街や建物のバリアフリー化を促進することを目的に、2006年（平成18年）12月20日に施行されました。この法律では、高齢者や障害者が建物や交通機関における移動を円滑にするため、利用者数や施設の規模により、駅や空港・ビル・ホテル・飲食店など、様々な施設でハードとソフトのバリアフリー化が義務づけられています。

（各種基準・誘導寸法）

| | |
|----------------|---|
| ①出入口 | 【国基準】80cm以上（義務基準）・90cm以上（誘導基準）※外への直結は120cm以上（国基準）※基準としては、電動車椅子利用も増え、外出を行う方々が増えた事も考え、誘導基準である90cm以上を推奨する事が望ましい。 |
| ②通路 | 【国基準】120cm以上（義務基準）・180cm以上（誘導基準）※基準としては、車椅子利用者が離合できる寸法が必要と考え、150cm～180cm以上を推奨する事が望ましい。尚、施設の規模等によっては柔軟な返答も必要。※150cmはIPCの基準に準ずる。 |
| ③傾斜路 | 【国基準】幅120cm以上（義務基準）・150cm以上（誘導基準）/勾配1/12の角度:4.8%（標準）/1/15の角度:3.8%（推奨）※勾配は、1/8を超えないこと。（建築基準法参照）。基準としては、通路同様、車椅子利用者が離合できる寸法が必要と考え、誘導基準である150cm以上を推奨する事が望ましい。尚、施設の規模等によっては柔軟な返答も必要。 |
| ④エレベーター | 【国基準】幅幅:140cm以上（義務基準）/160cm以上（誘導基準）/奥行:135cm以上※基準としては、手動車椅子が2台程度乗車できる寸法となっているが、様々な方が利用すると考えると施設規模等によっては下記、IPC基準寸法を提案する事も良いと考える。 【17人乗り及び24人乗りのIPC基準寸法】①17人乗り:幅200cm×奥行135cm |
| ⑤車椅子トイレ等 | 【建築基準】寸法:200cm以上×200cm以上/入口幅:80cm以上/入口幅:90cm以上（義務基準）・90cm以上（誘導基準）※車いすで回転できるスペース（直径180cm以上の円）を確保する。※基準としては、上記の通りとなる。スペース内の配置に関して当事者の意見を取り入れた検討が必要であると考え。尚、近年では多目的トイレの分散化も進められている事から状況に応じて検討する事が望ましい。 |
| ⑥小規模店舗のBF化について | 出入口:80cm以上（前後の高低差を無視）/店舗内通路:90cm以上/テーブルの高さ:下端の高さ65cm～70cm程度/上端の高さ70cm～75cm程度※基準としては、出入口や通路に関しては大型の車椅子を使用する方が増えている事から90cm～100cm程度の広さが望ましい。またテーブルについては、下端の高さが65cm～70cm程度となっているが、電動車椅子利用者の増加等も考えると上端の高さ70cm～75cm程度が望ましいと考える。 |

（補足）IPCとは？：国際パラリンピック委員会の略。
参考：Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン(PDF/157P)

大分あったか・はーと駐車場（パーキングパーミット）

車椅子使用車用駐車場



(赤)
車いす使用者



(緑)
車いす使用者以外の障がい者、高齢者、難病者



(オレンジ・期限付き)
妊産婦、けが人



※車椅子使用者用駐車施設とは、身体上の機能上の制限を受ける人が利用するための駐車スペースであり、幅が3.5m以上で施設の出入口の近くに整備されている。

車椅子使用車に必須の幅の広い駐車区画 広い幅を必要としない高齢者・障害者・妊産婦等のための区画



区画の幅が広い理由は、車いす利用者は乗用車のドアを全開にしないといけないからです。

(5) フェリーさんふらわあターミナル

株式会社商船三井・株式会社商船三井さんふらわあ「多様な乗船客に対応した、新造船とフェリーターミナルのユニバーサルデザイン化への挑戦」

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_sunflower.html

● 新ターミナルのユニバーサルデザイン化

新ターミナルの整備にあたっては、障害当事者も参画する協議会を設立し、障害特性ごとにヒアリングを行い、円滑な移動に関する課題及び解決方法について協議を実施した。協議会での検討結果を踏まえ、新ターミナルには屋根付き駐車スペースを整備し、うち2台は駐車・出庫しやすいスルー型としたほか、ベビーカー用トイレ、カムダウン・クルダウルーム等を整備した。

近年全国各地の船舶や旅客船ターミナルでは、バリアフリー化が急速に進展している。その中でも本事例は国内における有数の大型旅客船バリアフリーの優良事例として高く評価される。

乗船者にとって旅客船は非日常ではあるが一つの住まいであり街でもある。そのため旅客船には乗船者の期待に応えられる様々な難しいバリアフリー化が求められる。客室整備もその一つであるが、本事例では特にタイプ別の客室のバリアフリー化が工夫され、中小の旅客船にも十分に適用できる取組みがなされている。こうしたことが可能となったのは様々な障害当事者等からの意見反映であると認識できる。

一方、別府国際観光港旅客船ターミナル整備では大分・別府市内の障害者団体代表らとの協議の場が継続的に設定され、理想的なバリアフリー化の作業が進められたが、本事業を支援した交通エコム財団との協働作業の効果も記しておく。

施設のバリアフリー化は法基準に基づきただけでは成立しないことが多く、設計者の工夫や事業者の長期的な取組みが欠かせない。これら二つの優れた事例は、障害当事者のみならず専門的知見のある関係機関、及び事業者の明確な取組み姿勢が一体となって実現したものである。以上から本事例は国土交通大臣表彰として極めて相応しいものと認められる。

Supported by 公益財団法人 NIPPON FOUNDATION



さんふらわあターミナル(別府)
フェリーターミナルのユニバーサルデザイン



共生社会の実現に向けて

障害当事者参画によるバリアフリー施設整備のプロセス

■ 共生社会実現に向けたレガシーの継承 - 旅客船ターミナルのバリアフリー化モデル事業 -
2020年バリンピック東京大会を契機とした「心のバリアフリー」と「ユニバーサルデザインの街づくり」に取組む「共生社会ホストタウン」の拡大など、地域における共生社会実現に向けた機運の醸成がバリンピック後も引き続き進められていく。

そのため、交通エコロジー・モビリティ財団では、日本財団の支援による「共生社会実現に向けた移動円滑化基金」を活用して港湾施設におけるバリアフリー化支援を行い、障害当事者の意見や意見のバリアフリーを取り入れることで誰もが使いやすいターミナル施設の実現を目指し、本事業を実施した。

■ さんふらわあターミナル(別府)の整備経緯

本事業の実現に際して、当財団は2021年1月に「別府市UDターミナル推進協議会」を設置しました。実施主体の株式会社フェリーさんふらわあ、別府市内の特定非営利活動法人自立支援センターにおかれ、別府・大分バリアフリーセンターを構成員とし、さらにオブザーバーとして国土交通省九州運輸局、大分県、別府市の関係各団体の協力を得て計画の進捗から障害当事者へのヒアリング等を行い、旅客船ターミナルにおける移動円滑化の課題とそれを解決するための施設整備について協議を進めました。

2021年7月に、それらの検討結果を「別府市UDターミナル設置費」に取りまとめ、実施設計・施工に反映し、2023年1月にさんふらわあターミナル(別府)の開業を迎えました。



さんふらわあターミナル(別府)の開業によせて

今回、障害当事者参画として参加させていただき、「世界に誇れる」を目標に掲げ、当事者にアヒンクを重点的に実施しました。どのような工夫で実現できるか協議を重ね、最終的に整備を全面的に受け入れた形での完成となりました。

今後、このターミナルが公共施設建設をはじめ様々な建築物のロールモデルとなることを願っています。

尚、障害がある方でも、別府をはじめ大分県への観光、旅行の際は、別府・大分バリアフリーセンターがサポートさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

特定非営利活動法人自立支援センター 別府 代表 理事 後藤 秀和
別府・大分バリアフリーセンター 代表 若杉 竜也



さんふらわあターミナル(別府)のご紹介 (外観/駐車場へアプローチ)

利用用途にあわせて屋根付きのバリアフリー駐車スペースを設置

駐車場にはバリアフリー駐車スペースを2ヵ所整備しています。ターミナル建物の出入口付近に駐車スペース、送迎エリアには駐車・出庫しやすい2台分のスルー型駐車スペースを設置しています。また、バス降やタクシー乗降からターミナルのエントランスまで屋根が整備されています。



① バリアフリー駐車スペース(1) (3台分)

ターミナルの建物の近くに屋根付きのバリアフリー駐車スペースを整備しています(左右と、車両後方からの安全な乗降にも配慮したスペースを確保)。
①は「大分あったか・はーと駐車場」とし、②は車椅子利用者専用駐車場としています。



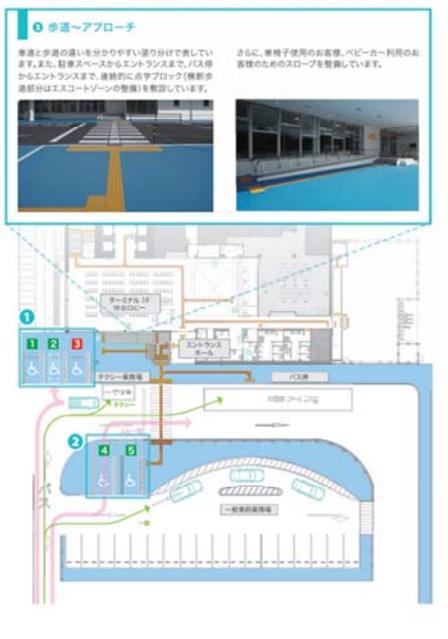
② バリアフリー駐車スペース(2) (2台分)

送迎エリアに屋根付きのバリアフリー駐車スペースを整備しています(左右と、車両後方からの安全な乗降にも配慮したスペースを確保)。また送迎車、スルースルー型利用ができるようにスルー型(入庫時の向きのまま進出できる/後退の必要がない)を採用しています。
②は「大分あったか・はーと駐車場」と連携しています。



すべてのお客様に安全・快適にご利用いただくため、バリアフリーに対応した新造船ターミナルを整備しました。日本初のLNG燃料フェリーへの乗船はスタッフ一同、心よりお待ちしております。

株式会社フェリーさんふらわあ



さんふらわあターミナル(別府)のご紹介
(ターミナル1F)



ターミナル内の点字ブロックで示される動線は「誘導対象施設」をシンプルで分かりやすいように配置

文字にビジュアルを組み合わせたサイン施設を、音声ガイドによる分かりやすい情報提供を実現



① エントランスホール
全館の案内図(施設案内図)と人的支援(サポート)を求めらるお客様のため、インターホンを整備しています。



② エレベーター
輸送力を確保するため、4基のエレベーター(うち1基はスリッパ専用対応)を整備しています。各号内は、音声案内、高い位置の操作盤、浮き出し文字のボタン、点字表示、手すりなどバリアフリー化しております。



③ 祈禱室
宗教多様性に対応するため、個室形式の祈禱室を整備しています。

国内の両客船ターミナル初の
カムダウン・クールダウンルームを設置

④ カムダウン・クールダウンルーム
気持ち落ちるお客さまや、体調不良のため、カムダウン・クールダウンルームの個室を整備しています。

⑤ 教護室
体調が悪くなったお客さまのため、スタッフエリアに近い場所に教護室を整備しています。

⑥ 発券カウンター
視覚に障害のあるお客さまのため、点字ブロックで誘導したワンタッチ発券機を設置し、使いやすいローカウンターでの2か所の発券カウンターを整備しています。

⑦ 乗客待合室
すべてのお客さまが快適で、安心して待合期間を過ごすことができる空間を整備しています。発券カウンターの近い場所には優先席を設置し、他のお客さまが気になる方には、パーテーションで区切られた座席を設置しています。また、スマホの充電スタンドも整備しています。

各々の利用ニーズに合わせた
バリアフリートイレ(車椅子用トイレ、多機能)・男女共用トイレを設置

⑧ バリアフリートイレ(車椅子用トイレ)の設置
入口の配慮ポイント
• 入口に案内図(設備案内図)を設置
• 車椅子が転倒しやすいスペースを確保
• 多言語(日本語等)で表示
• 設備内容をビジュアルで表示

⑨ バリアフリートイレ(多機能)の設置
• 手すり(手固定式・握り上げ式)
• フィットングボード
• ペビージェア
• フック(高い位置、低い位置)
• 便座に対して右からのアプローチがしやすい

⑩ 男女共用トイレの設置
• 小便器
• 洋便器ブース(手すり付)

⑪ 男子トイレ
⑫ 女子トイレの設置
• ペビージェア
• 手洗器付近にオムツ替えベッドを設置

⑬ 補助式用トイレ
補助式を利用しているお客さまのため、シャワー付き水栓・防臭機能付きゴミ箱を整備しています。

⑭ 水飲み/医療電源室
医薬品を利用するお客さまが使用できる電源、個室を必要とするお客さまが使用できる水飲室を備えた個室を整備しています。なお、コンセントは高い位置にも低い位置にも設置しています。

アクセス

施設概要

| | |
|------|-----------|
| 構造 | 鉄骨造 地上2階建 |
| 敷地面積 | 3,763.20㎡ |
| 延べ面積 | 1,105.65㎡ |

事業主：株式会社フェリーさんふらわあ
設計事務所：東九州設計工務株式会社
施工会社：株式会社 野間

住所：大分県別府市安原町944-2
● 別府駅前からバスで約15分(さんふらわあターミナル(別府))下車
● 別府駅前からタクシーで約10分

2023(令和5)年 2月発行
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
平112-0004
東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽ビル10階
TEL:03-5844-6265/FAX:03-5844-6294

作業協力：株式会社TAP

本書の無断転載、無断引用を禁じます。

(6) 特別なバリアフリーからあたり前のバリアフリー

| | 2015年 | 2025年 | 2055年 |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 65歳以上高齢者人口(割合) | 3,395万人 (26.8%) | 3,657万人 (30.3%) | 3,626万人 (39.4%) |
| 75歳以上高齢者人口(割合) | 1,646万人 (13.0%) | 2,179万人 (18.1%) | 2,401万人 (26.1%) |

| | 身体障害者 | 知的障害者 | 精神障害者 |
|------|-------|---------|-------|
| 令和4年 | 436万人 | 109.4万人 | 614万人 |

1159.4万人 (9.2%)

※令和5年度障害者白書

障がい者+高齢者=4,816.4万人 (39.5%)

人口の40%「5人に2人」は・・・
高齢者・障害者

①障がい者+高齢者=4,816.4万人 (39.5%) 5人に2人が障害者又は高齢者

②「特別なバリアフリー=福祉」から「あたり前のバリアフリー=観光・経済・合理的配慮」

障害者、高齢者及びそのご家族・友人等が、旅行や観光を諦めることなく、沢山の選択肢によって、自由に安心して出掛けることができる社会づくりが、今後、大きなカギとなる。

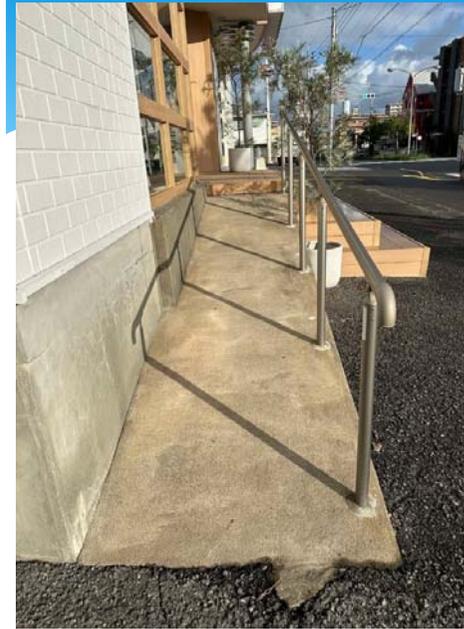
ご家族、ご友人の中に、当たり前「障がい者」、「高齢者」がいる社会
もしかするとご自身が当事者になる可能性も・・・
今、これから…自分たちがやれることを真剣に考えていくことが大切です

(1) バリアフリーを考える上で大切なこと

【1】間違った・惜しいバリアフリー



使いづらい
勿体ないなあ...



【官民協働】一緒に考えていくことが大切です。



合理的配慮「要配慮者研修」

令和6年度 別府市新採用職員要配慮者体験研修

<https://www.youtube.com/watch?v=NIXbuLZn2DU>



令和6年度 別府市新採用者

要配慮者体験研修

【日時】令和6年4月3日(水)10時15分～12時15分
【場】別府市議会大会議室・別府市役所周辺
【実施】NPO法人自立支援センターおおい

【日程】
10時15分～10時25分 開会挨拶
10時25分～10時35分 目的・内容説明
10時35分～11時25分 疑似体験実施
11時25分～11時40分 別府市「要配慮者体験研修」レポート記入
11時40分～12時10分 グループワーク(20分)・発表(1グループ20分×8グループ)
12時10分～12時15分 おとめ
12時15分 終了

2024.6.19 令和6年度県・市町村福祉担当新任職員研修会



座学



座学



シルバーカー・ベビーカー体験



視覚障害体験



車椅子介助体験



聴覚障害体験

ベップ トリップ ワンランクアップ(別府バリアフリー観光)



<https://www.youtube.com/watch?v=38tH-XpVMWE&t=58s>

別府・大分バリアフリーツアーセンター

info@barifuri-oita.com 090-6633-4882



別府市バリアフリー観光情報

サイト「ばらべっぷ」

別府市ユニバーサル

ツーリズムPR動画



ご清聴ありがとうございました

